

## 工事事故(速報)の情報提供について

工事の安全管理には、日頃から万全を期していただいているところではありますが、この度、残念ながら別紙に示す工事事故が発生しました。

各事務(管理)所の工事現場において、このような工事事故が再び発生することのないように工事事故概要を皆様にお知らせいたします。

本資料を活用し、受注者を適切にご指導頂き、再発防止に努めて頂きますようお願いいたします。

### 【工事事故(速報)発生状況】 (H27.2.28現在)

	2月発生件数	累計件数	死亡者数	負傷者数
平成26年度(今年度)	11件	60件	4人	21人
平成25年度(昨年度)	8件	77件	11人	32人

注1) 上記は、関東地方整備局管内の工事事故発生件数(速報)を示す。

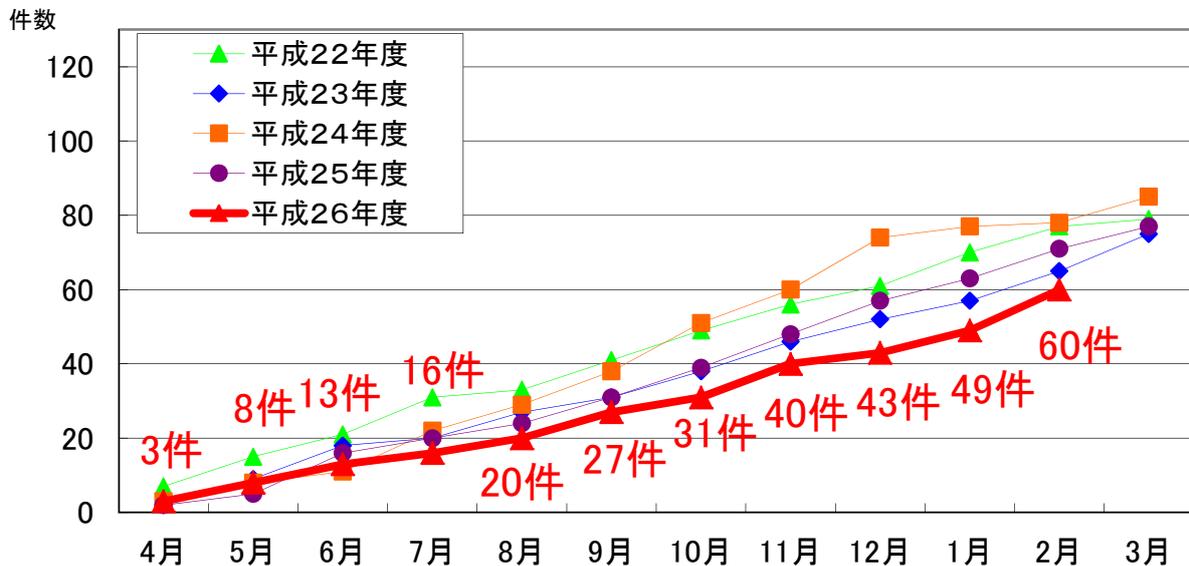
注2) 「2月発生件数」は、2/1～2/28の間に起きた件数。(月毎分)

注3) 「累計件数」は、4/1～3/31の間に起きた件数。(累計分)

注4) 「死亡者数」・「負傷者数」は、4/1～3/31の累計人数を示す。

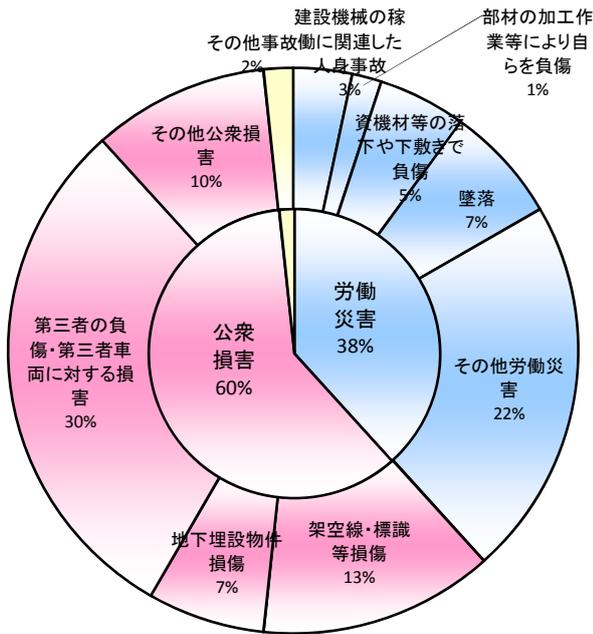
注5) 平成26年度の数字は「速報」であり、審査の結果、「不問」になる可能性がある。

#### ●工事事故件数



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成22年度 累計 (月毎)	7件 (7件)	15件 (8件)	21件 (6件)	31件 (10件)	33件 (2件)	41件 (8件)	49件 (8件)	56件 (7件)	61件 (5件)	70件 (9件)	77件 (7件)	79件 (2件)
平成23年度 累計 (月毎)	2件 (2件)	9件 (7件)	18件 (9件)	20件 (2件)	27件 (7件)	31件 (4件)	38件 (7件)	46件 (8件)	52件 (6件)	57件 (5件)	65件 (8件)	74件 (9件)
平成24年度 累計 (月毎)	3件 (3件)	8件 (5件)	11件 (3件)	22件 (11件)	29件 (7件)	38件 (9件)	51件 (13件)	60件 (9件)	74件 (14件)	77件 (3件)	78件 (1件)	85件 (7件)
平成25年度 累計 (月毎)	2件 (2件)	5件 (3件)	16件 (11件)	20件 (4件)	24件 (4件)	31件 (7件)	39件 (8件)	48件 (9件)	57件 (9件)	63件 (6件)	71件 (8件)	77件 (6件)
平成26年度 累計 (月毎)	3件 (3件)	8件 (5件)	13件 (5件)	16件 (3件)	20件 (4件)	27件 (7件)	31件 (4件)	40件 (9件)	43件 (3件)	49件 (6件)	60件 (11件)	

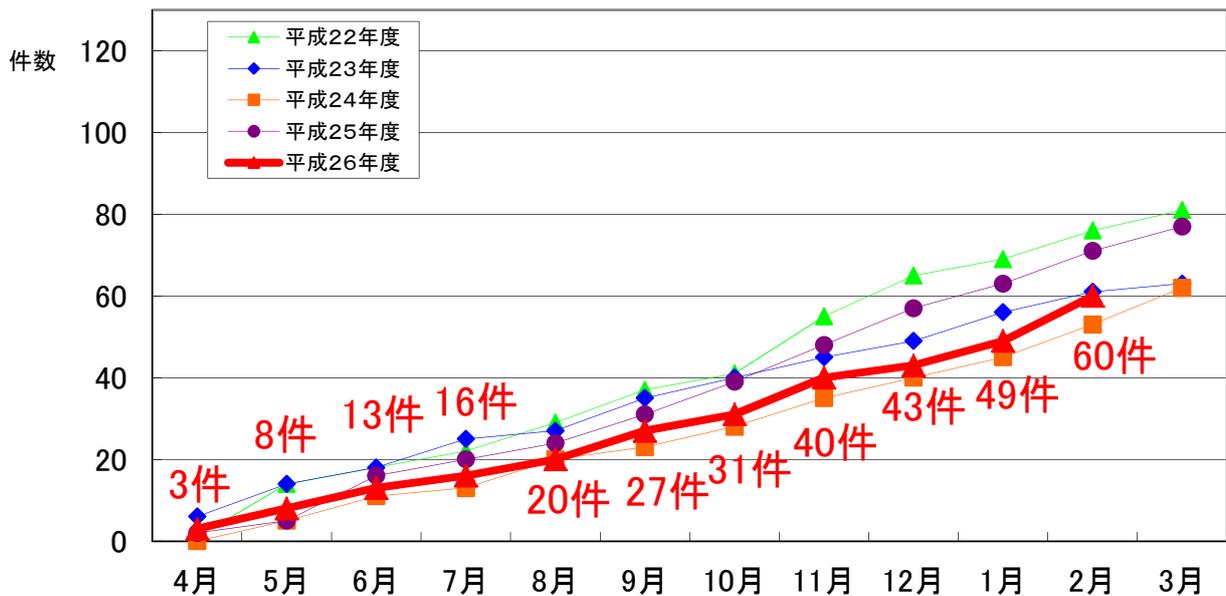
●平成26年度 工事事故発生状況(発生形態別)



発生形態		H24	H25	H26	過去3年間計
労働災害	建設機械の稼働に関連した人身事故	7	6	2	15
	部材の加工作業等により自らを負傷	0	5	1	6
	資機材等の落下や下敷きで負傷	9	6	3	18
	墜落	5	6	4	15
	準備作業、測量調査業務等における人身事故	0	1	0	1
	その他労働災害	6	6	13	25
小計		27	30	23	80
公衆損害	架空線・標識等損傷	10	5	8	23
	地下埋設物件損傷	7	12	4	23
	第三者の負傷・第三者車両に対する損害	19	16	18	53
	その他公衆損害	19	10	6	35
	小計	55	43	36	134
その他事故		3	4	1	8
計		85	77	60	222

● H26年度重点的安全対策項目

(参考)工事事故のうち、「その他公衆損害」における車両管理業務等の車両の自損事故を除く事故件数(車両管理業務等の車両の自損事故を除いた工事事故件数)

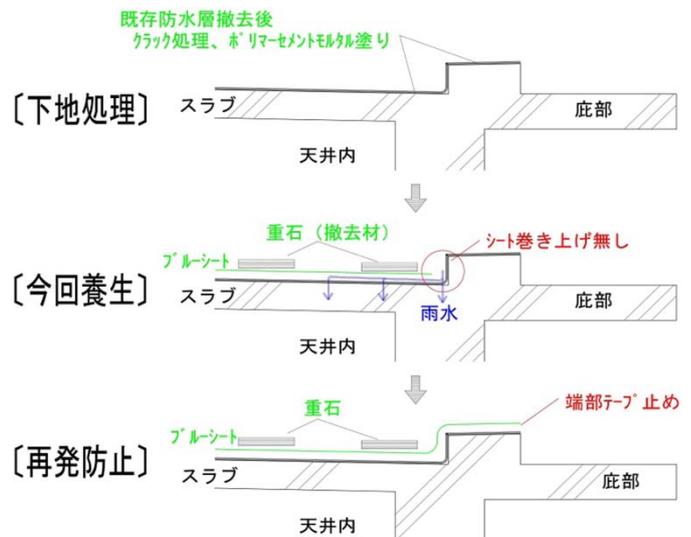


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成22年度 累計	6件	14件	18件	25件	27件	35件	40件	45件	49件	56件	61件	63件
(月毎)	(6件)	(8件)	(4件)	(7件)	(2件)	(8件)	(5件)	(5件)	(4件)	(7件)	(5件)	(2件)
平成23年度 累計	0件	5件	11件	13件	20件	23件	28件	35件	40件	45件	53件	62件
(月毎)	(0件)	(5件)	(6件)	(2件)	(7件)	(3件)	(5件)	(7件)	(5件)	(5件)	(8件)	(9件)
平成24年度 累計	2件	6件	8件	18件	23件	31件	42件	50件	63件	66件	67件	74件
(月毎)	(2件)	(4件)	(2件)	(10件)	(5件)	(8件)	(11件)	(8件)	(13件)	(3件)	(1件)	(7件)
平成25年度 累計	2件	5件	16件	20件	24件	31件	39件	48件	57件	63件	71件	77件
(月毎)	(2件)	(3件)	(11件)	(4件)	(4件)	(7件)	(8件)	(9件)	(9件)	(6件)	(8件)	(6件)
平成26年度 累計	3件	8件	13件	16件	20件	27件	31件	40件	43件	49件	60件	
(月毎)	(3件)	(5件)	(5件)	(3件)	(4件)	(7件)	(4件)	(9件)	(3件)	(6件)	(11件)	

■問合せ先:企画部 技術調査課 遠藤・桑田 (TEL 048-600-1332)

発生日時	平成 27 年 2 月 8 日 (日)			
工事情報	技術事務所 建築工事			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	—	—	—	
事故概要	宿舍屋上の既設防水層の剥離作業を実施したが、降雨により宿舍内に漏水が発生したものの。 公衆損害—その他公衆損害			

### 事故発生状況



- ・既存防水撤去及び下地処理完了後、ブルーシート養生を行い作業終了したが、その後の降雨により、住居部分に漏水が発生した。
- ・ブルーシート養生が不十分であったと考えられる。

#### 【事故発生原因】

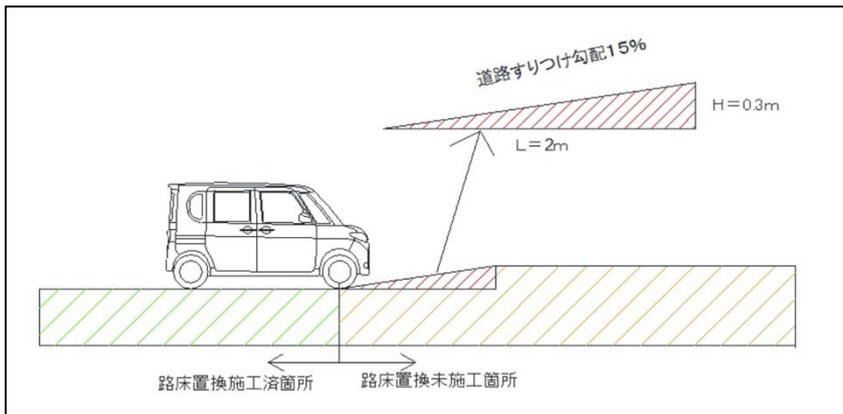
- ・降雨に配慮した詳細な作業手順の周知徹底不足 など

#### 【事故防止のポイント】

- ・降雨による漏水を生じないように作業手順等をよく検討し、周知徹底する など

発生日時	平成 27 年 2 月 11 日 (水) 9 時 30 分			
工事情報	道路系事務所 一般土木工事			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	—	—	—	一般車両損傷
事故概要	道路予定地内の工事用道路を、一般車両が通行したところ、途中の段差で車両底部が接触し、オイル漏れが発生したもの。			
	公衆損害—第三者の負傷・第三者車両に対する損害			

### 事故発生状況



・被災者が工事箇所に隣接する耕作地へ行くため、工事用道路入口の作業員に声をかけ、工事用道路での作業は行っていないため、単管バリケードを作業員が開放した。

・工事用道路を走行していたところ段差に気が付かず、通行した際に車両の前面底部が段差すりつけ部に接触損傷し、オイル漏れがおきた。

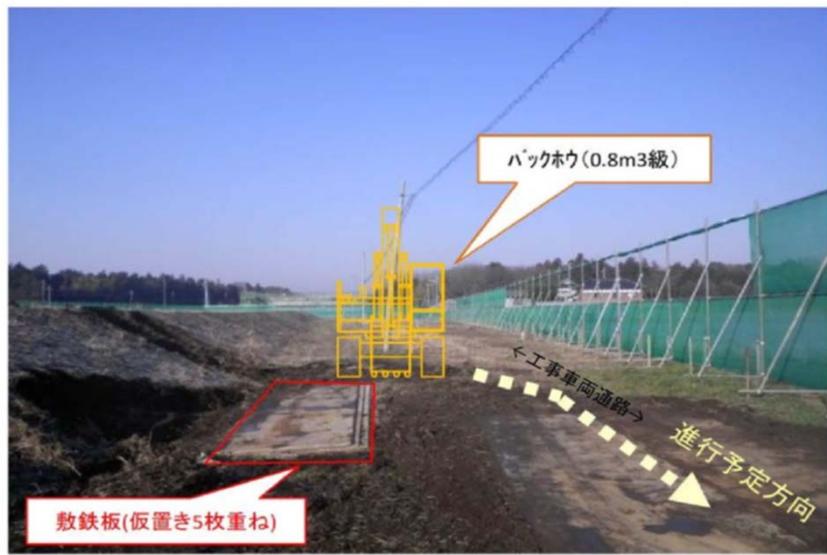


**【事故発生原因】**  
 ・一時通行者への注意喚起不足  
 など

**【事故防止のポイント】**  
 ・工事エリア内に第三者を通す場合は、十分な注意喚起を行う  
 など

発生日時	平成 27 年 2 月 12 日 ( 木 ) 8 時 10 分			
工事情報	道路系事務所 一般土木工事			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	—	—	—	NTT柱損傷
事故概要	現場内をバックホウが自走していたところ、NTT柱に接触し、損傷したもの。			
	公衆損害—第三者の負傷・第三者車両に対する損害			

### 事故発生状況



- ・バックホウを前日の作業終了時に駐車した場所から当日の施工箇所へ移動する際、バックホウ右側前方に敷鉄板5枚が重ねて仮置きしてあったので、回避して前方へ発進する為に一時後進した。
- ・その際、バックホウの後部が後方に位置していたNTT柱に接触し折損させた。
- ・架空線には影響なかった。

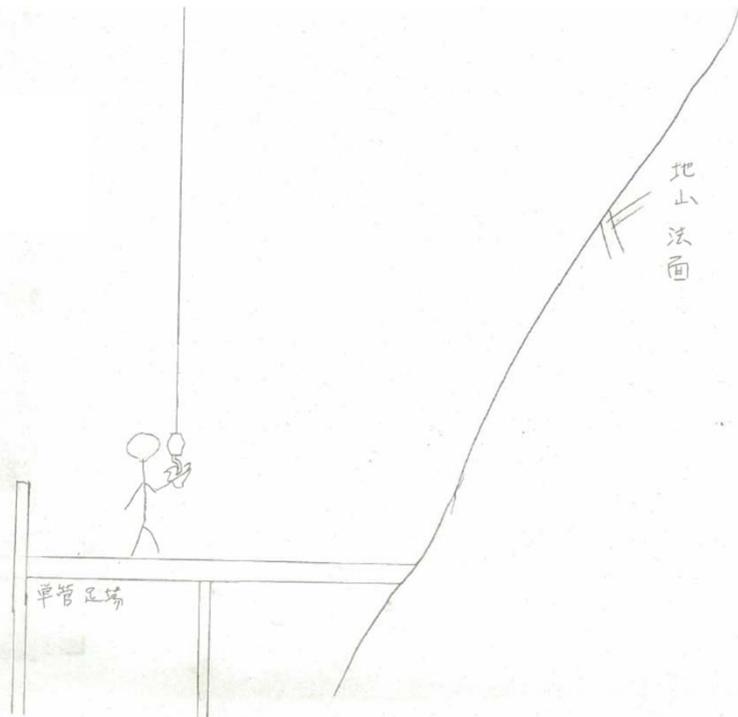


**【事故発生原因】**  
 ・近接構造物への注意不足  
 など

**【事故防止のポイント】**  
 ・既設構造物付近での重機作業における注意喚起を行い、必要に応じて目印表示等を実施する  
 など

発生日時	平成 27 年 2 月 12 日 ( 木 ) 9 時 30 分			
工事情報	河川系事務所 一般土木工事			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	男	50	作業員	左腕前腕複雑骨折
事故概要	崩壊地の対策工事の足場上に材料の砂を索道で下ろし、フックを移動させていた際、フックが降下し、下にいた作業員に接触し負傷したもの。			
	労働災害-資機材等の落下や下敷きで負傷			

## 事故発生状況



・長大法面の施工箇所、法肩より70m下った所にロックボルトを施工する為、作成された単管パイプ足場があり、そのステージを利用して、法枠の補修作業を実施。

・ステージより約140m離れたクレーン操作場より足場頭上に有った吊りフックを移動した際、オペレーターの誤作動により約100kgある吊りフックが、5m落下し、下にいた補修作業員に接触し、負傷した。

### 【事故発生原因】

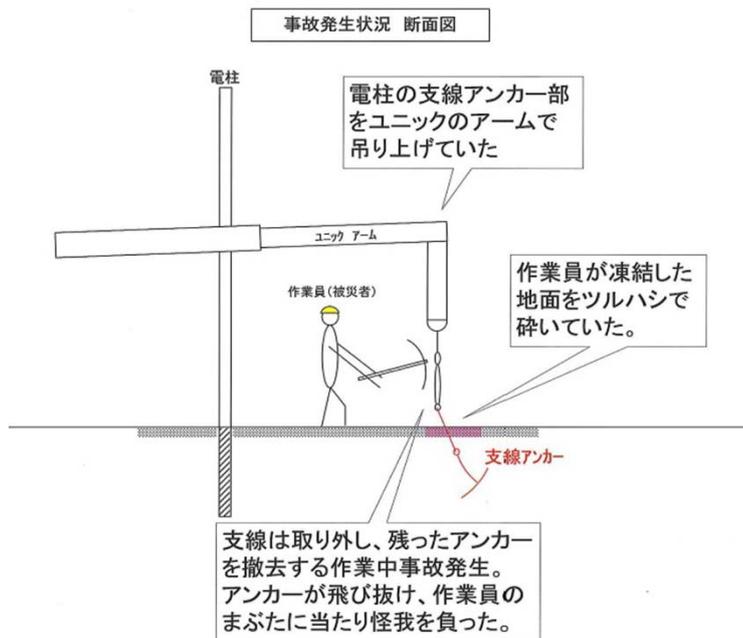
・フックの退避の確認不足  
など

### 【事故防止のポイント】

・吊りフックの退避を合図者等が確認を行う  
など

発生日時	平成 27 年 2 月 13 日 (金) 15 時 0 分			
工事情報	河川系事務所 通信設備工事			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	男	24	電工	
事故概要	電線を撤去するため、電線の打ち込みアンカーをユニック車で引き抜こうとしたところ、飛び抜けたアンカーが作業員に接触し、負傷したもの。			
	労働災害—その他労働災害			

## 事故発生状況



・通信架空配線の架空部分を撤去した後、支線上部の取り外しを行い、支線下部の撤去作業を開始した。

・つるはしで手掘作業を行っていたが、掘削位置がやぶの中に有り、掘削作業が捗らなかったため掘削の浅い状態でユニック車により支線アンカーの吊り上げを試みた。

・しかし掘削が不十分のため吊り上げられず、作業員は吊り上げテンションを緩めるよう合図をしたのち、再びつるはしを使用し掘削作業を行った。

・この時ユニック車のオペレーターは作業員の合図に気づかず、吊り上げテンションを緩めなかったため、掘削再開時に支線アンカー一部が吊り上がり被災者の顔面に接触し、左目まぶたを切り負傷した。

### 【事故発生原因】

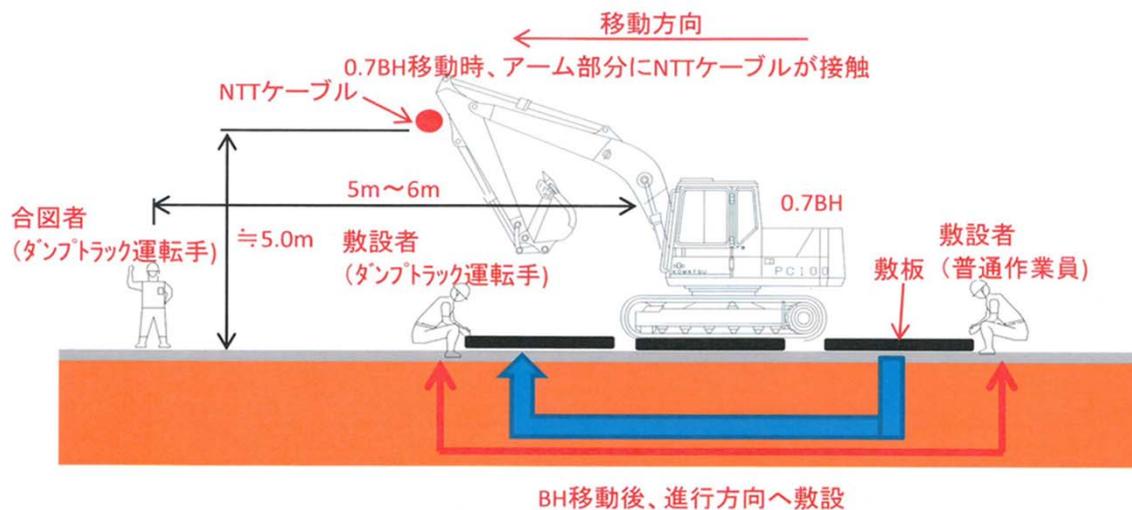
・アンカー引き抜きの作業手順を周知徹底していなかった  
など

### 【事故防止のポイント】

・現場条件にあう作業手順書を作成し、周知徹底を行う  
など

発生日時	平成 27 年 2 月 16 日 ( 月 )			8 時 35 分
工事情報	河川系事務所 一般土木工事			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	—	—	—	架空線(NTTケーブル)切断。12回線不通(約9.5h)
事故概要	土砂採取場所をバックホウが自走中、架空線に接触し、切断したもの。			
	公衆損害—架空線・標識等損傷			

## 事故発生状況



- ・事前に移動経路を打合せしていたが、土砂積込み場所の段取り替えのためにバックホウが移動する際、当初移動予定経路ではない堤防上を走行した。
- ・その際、架空線に接触し、NTTケーブル12回線を切断。
- ・一般家庭用回線12回線が約9時間半不通となった。

### 【事故発生原因】

- ・架空線に対する安全管理不足など

### 【事故防止のポイント】

- ・架空線の位置などを周知徹底し、予定経路でないところは走行しないよう徹底するなど

発生日時	平成 27 年 2 月 17 日 (火) 7 時 20 分			
工事情報	河川系事務所 一般土木工事			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	男	77	オペレーター	
事故概要	護岸改良工事において、クレーンオペレーターがクレーン船にイカダを渡ろうとした際、バランスを崩して河川に転落し、死亡したものの。			
	労働災害—その他労働災害			

## 事故発生状況



【全景写真】



- ・被災者は、クレーン船へ作業に必要な荷物(保護具を含む)を取りに、単独でイカダを介錯ロープで手繰り寄せ、護岸から渡ろうとした際にイカダから落水した。
- ・落水し、顔を上にして浮いている被災者を発見した作業員がイカダを使用し、落水箇所から63m下流で被災者に追いつき、イカダ上に引き揚げて、心臓マッサージを施したが、搬送先の病院で死亡が確認された。
- ・ライフジャケットは着用しておらず、単独で渡河していた。

### 【事故発生原因】

- ・ライフジャケット未着用  
など

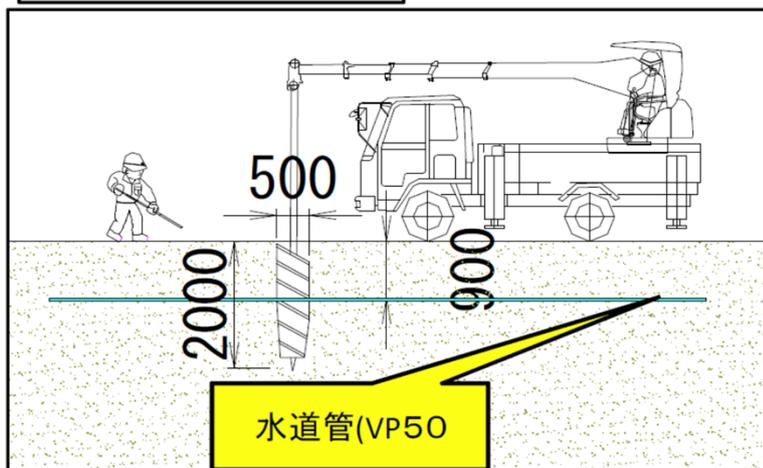
### 【事故防止のポイント】

- ・渡河する際は、ライフジャケットを着用するよう徹底する  
など

発生日時	平成 27年 2月 17日 (火) 14時 40分			
工事情報	道路系事務所 鋼橋上部工事			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	—	—	—	埋設水道管損傷(2軒影響。約3h)
事故概要	現場内に仮設電柱を建柱するため建柱車で掘削していたところ、埋設水道管を破損したものの。			
公衆損害—地下埋設物件損傷				

## 事故発生状況

### 事故状況断面図



建柱車(オーガ)掘削状況写真



事故状況写真



・現場仮設電源設置において引き込み電柱を建柱するため建柱車(4t)にて建柱箇所を約2m掘削した。

・オーガを引き抜いたところ、水が噴出し水道管を破損したことが判明。

・ただちに復旧作業を行い、約3時間後、復旧完了した。復旧作業のため、一時断水した。影響家屋は2軒。

### 【事故発生原因】

・埋設物有無の確認、試掘等を実施しなかった  
など

### 【事故防止のポイント】

・作業前に図面や関係機関への確認などにより埋設物の有無を把握する  
など

発生日時	平成 27年 2月 19日 (木) 11時 35分			
工事情報	道路系事務所 造園工事			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	男	49	作業員	頸椎骨折
事故概要	造園工事において、作業員が高木剪定作業中、木に登り、枝を切りながら下がってきたとき、枝に手を掛けたところ、枝が折れて、約4m下に墜落したものの。  労働災害-墜落			

### 事故発生状況

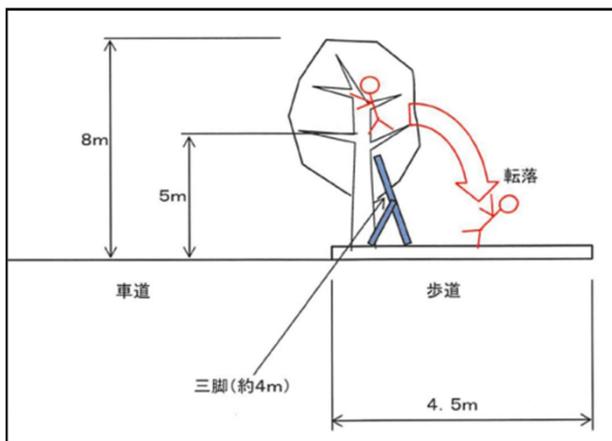
#### 作業状況



剪定していた木



#### 事故発生時状況図



- ・現場作業員が、街路樹高木剪定作業時に足をかけた枝が折れ、5m下の歩道に落下。
- ・作業時の街路樹はトウカエデ(樹高約8m, 折れた枝の直径約8cm)
- ・折れた枝は、健全で腐っていなかった。
- ・事故発生時、現場作業員は安全帯を着用していたが、落下時は移動のため、フックを外していた。

#### 【事故発生原因】

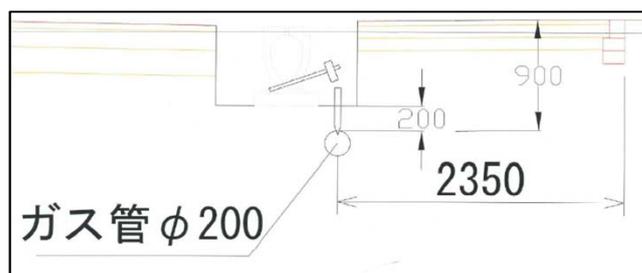
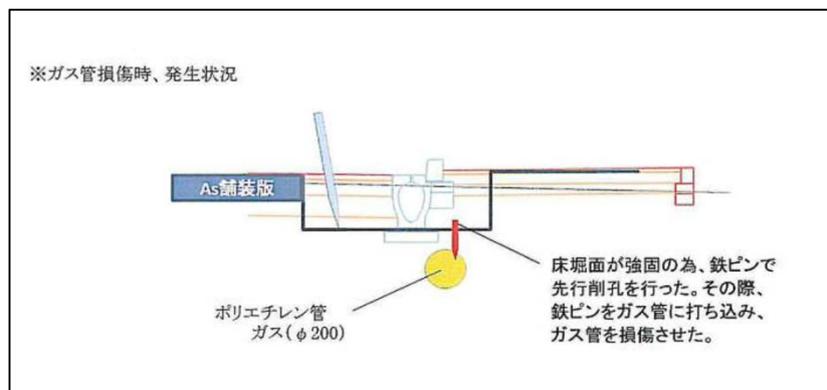
- ・安全帯のフックを外していたなど

#### 【事故防止のポイント】

- ・高所作業車や2丁吊り安全帯を使用するなど

発生日時	平成 27 年 2 月 23 日 (金) 16 時 50 分			
工事情報	道路系事務所 As舗装工事			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	—	—	—	
事故概要	舗装工事に伴う縦断管敷設のため、鉄棒を打設して丁張りを設置していたところ、埋設されていたポリエチレン管を損傷したものの。  公衆損害—地下埋設物件損傷			

## 事故発生状況



- ・掘削作業を行い、縦断管を敷設するため、丁張りの設置作業を実施していた。
- ・人力にて鉄棒を打設していた際、埋設されていた瓦斯管(ポリエチレン製)を損傷した。
- ・損傷した管は、道路建設に伴い敷設(移設)した低圧管であり、まだ一般家庭には供給していなかった。
- ・埋設図とのぼり旗で埋設物の明示を行っていたが、鉄棒を打ち込む箇所の下には埋設物は無いだろうと作業員が思い込んでいた。

### 【事故発生原因】

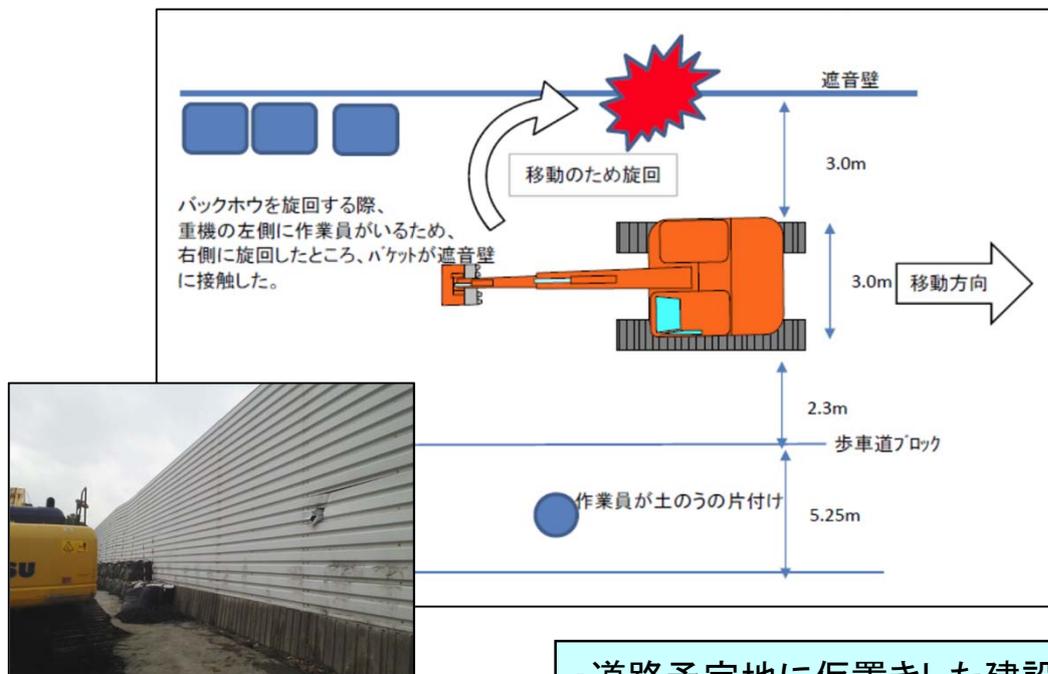
- ・地下埋設物に対する注意不足  
など

### 【事故防止のポイント】

- ・地下埋設物が予想される箇所では、試掘等により事前確認を行うよう徹底する  
など

発生日時	平成 27 年 2 月 24 日 (火) 11 時 25 分			
工事情報	道路系事務所 一般土木工事			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	—	—	—	
事故概要	道路予定地に仮置きした土砂を搬出する際、バックホウのバケットが高速道路の遮音壁に接触し、損傷したものの。  公衆損害—第三者の負傷・第三者車両に対する損害			

## 事故発生状況



- ・道路予定地に仮置きした建設発生土（高速道路遮音壁の基礎部を保護するために大型土のう袋に収納し設置していたもの）をバックホウにて撤去搬出する作業中、バックホウの位置を移動させるため運転席を旋回した。
- ・その際、首都高速道路の遮音壁外装板にバケットが接触し損傷させた。
- ・交通への支障はなかった。

**【事故発生原因】**  
 ・近接構造物に対する安全管理不足など

**【事故防止のポイント】**  
 ・既設構造物付近での重機作業における注意を徹底するなど